

様式第2号（第5条関係）

平成28年6月17日

出張報告書

栗山町議会議長 鵜川和彦様

栗山町議会議員

置田武司 ⑤

このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 平成28年5月18日 ~ 平成28年5月18日まで
- 2 旅行先 東京
- 3 目的 第100回東京組全国フォーラム
- 4 関係書類 別紙のとおり



日 時	平成28年5月18日 14:30 ~ 16:30
視 察 先	東京都第100回東京財団フォーラム
調査事項	議会基本条例10年～東京財団モデルまで part 1
対 応 者	中尾修氏 江藤俊昭氏 廣瀬克武氏 千葉英明氏
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提言、課題など)	本町の議会基本条例の制定施行を経て10年の月日が経過した。議会改革の大王市流の中、全国で制定した議会はすでに800を超えている。今回のフォーラムは、これに学ぶため、議会基本条例が果たした役割や効果などについて検証し、今後の成長の期待に十分応えられるよう、地方議会のあり方を探ろうというものでした。 2010年1月、東京財団が公表した政策提言「東京財団モデル 必須3要件」 ① 議会報告会 議員交換会 ② 請願 陳情者の親見陳述 ③ 議員報酬の自由な交渉 この3点を重視し、視察を中心に報告が行われました。 ① 議会への生長が、当然視されるべきで、大至急で、市民に伝わるように、市民生命線、これに全力で取り組むべきです。議員報酬が2重2々、制度として継続していかねばなりません。

② 市町村、国、都道府県の議会、議員内
部議会を重視する議会、政策競争する議会へ
2010年より大きく変わると、新制度、新情を
政策推進の中にも位置付けて「フォーラム」として
議会への在りかたを定める。

③ 議会に提案については2つの検証や審査の場
2つあり、まず1つは判断材料を3つ又4つにわける段階の
審査結果をどう活用するか、議員内での結論を
審議する。その後の提案案については、議員内
部で審議、討論、討論の結果、議会の本務中の本務に
合致する課題として

3氏は「市民参加の中で十分に議論にのめり
議会改革は目的が正しい、住民福祉の向上
にむかっている」として、戦略的に
重要なポイントを検査し示していく構図に
なることを示す。

3氏は、2010年を境として、
800を超える自治体の基本条例の制定が
2010年、2011年、今後展開に大きく
期待を込める。理解を深める。

これにより市民と直接対話し、議会と行政が
連携する。これが認識された。また
改革が進めば、中長期的な効果が
強く思われる。住民と、お互いに
真剣に話し、議会、議員として

10年、議会基本条例の役割と効果に
ついて非常に勉強に努め、短い時間では
あっても、ために努めた。フォーラムとして